

## 平成18年度 決算報告書

国立大学法人 北見工業大学

(単位 百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算 - 予算)	備 考
収入				
運営費交付金	2,628	2,628	0	
施設整備費補助金	1,171	1,204	33	(注1)
補助金等収入	0	15	15	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	19	19	0	
自己収入	1,240	1,256	16	
授業料、入学金及び検定料収入	1,209	1,201	8	(注3)
雑収入	31	55	24	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	190	284	94	(注5)
目的積立金取崩	20	48	28	(注6)
計	5,268	5,454	186	
支出				
業務費	3,225	3,071	154	
教育研究経費	3,225	3,071	154	(注7)
一般管理費	663	653	10	(注8)
施設整備費	1,190	1,223	33	(注9)
補助金等	0	15	15	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	190	288	98	(注11)
計	5,268	5,250	18	
収入 - 支出	0	204	204	

## 予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった平成18年度当初予算による交付を受け、予算額に比して決算額が33百万円多額となっております。
- (注2) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金の獲得により、予算額に比して決算額が15百万円多額となっております。
- (注3) 授業料、入学金及び検定料収入については、在籍者数の減少及び授業料免除の拡大による授業料収入の減少、また、入学金の免除申請件数の増加に伴う入学金収入の減少により、予算額に比して決算額が8百万円少額となっております。
- (注4) 雑収入については、主として外部資金の獲得に努めたことによる間接経費の増加等により、予算額に比して決算額が24百万円多額となっております。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受入額の増加により、予算額に比して決算額が94

百万円多額となっております。

(注6) 目的積立金取崩については、使用目的に対する支出の増加により、予算額に比して決算額が28百万円多額となっております。

(注7) 教育研究経費については、主として人件費の節減に努めたこと及び退職手当の残額により、予算額に比して決算額が154百万円少額となっております。

(注8) 一般管理費については、主として人件費の節減に努めたこと及び退職手当の残額等により、予算額に比して決算額が10百万円少額となっております。

(注9) 注1に示した理由により、予算額に比して決算額が33百万円多額となっております。

(注10) 注2に示した理由により、予算額に比して決算額が15百万円多額となっております。

(注11) 注5に示した理由により、予算額に比して決算額が98百万円多額となっております。

支出の教育研究経費には、損益計算書上の教育経費、研究経費、教育研究支援経費、教員人件費の全部及び職員人件費の一部を含んでいる。また、支出の一般管理費には、損益計算書上の一般管理費、役員人件費の全部及び職員人件費の一部を含んでいる。